

フツ化洗口の実施を

答 現在、学校では取り入れていない



大城 勇太



問 本町小中学生の虫歯がある生徒はどれくらいいるのか。

教育長 小学生が1125人、約37%で中学生が437人33%となる。

問 虫歯における医療費負担はどれくらいか。

民生部長 国保の分だけで、2642万円である。

問 名護市では保育園からフツ化洗口を行っている。本町でも実施できないか。

教育部長 学校でも、虫歯に対する効果、歯を丈夫にする効果は認められているものの、フツ化物洗口には賛否があり慎重に検討する必要がある。

カボチャの日制定を

問 本町は5月12日を初出荷時期に合わせてアセロラの日としている

る。本町もカボチャやヘチマ、スターフフルーツの日の制定ができないか。

経済建設部長 今後検討する。



県外の料亭へも出荷される特産品のかぼちゃ

津嘉山区の安全対策を

問 津嘉山保育園付近の十字路にガードレールや鉄製のポールの設置ができないか。

副町長 県南部土木事務所と交差点の安全対策について協議をしている。

問 この問題を整理すると、

① 2018年6月8日、2億8000万円余の指名入札で落札者Aが発表された直後、最低制限価格の公表を求めたが公表されなかった。

② 後日入札ミス(見間違い)がわかり落札者Aが失格になり、Bが落札者となった。

③ 参加18JV中、失格者は7JV、予算超過が4JVと各社の入札額にかなり差がある中、落札者Bの落札額は最低制限価格からプラス2万円(99.992%)である。

④ 落札者Bの公表されているランクはCもしくはDランクだが、事業費Aランクの工事を受注した。
⑤ 次週、別の工事で入札に参加した17社は、全て6月8日の同入札の参加者であり、先に失格した当初落札者Aが新たな工事を落札した。

なぜ見間違ったのかが一番の焦点である。職員だけのせいにするのは適切か。

副町長 十分チェックをしなかった。非常に責任を感じている。一人の責任ということではない。重ねてお詫びを申し上げたい。

順位	社名	入札額	最低制限価格	備考
1	A社	269,500,000	269,500,000	失格
2	B社	269,430,000	269,430,000	1 落札
3	C社	269,900,000	269,900,000	2 落札

入札額は最低制限価格を下回ってはいけない

2億8000万円余の入札ミスに対する疑いをはらせ

答 結果的には不信を買ってしまい、大変申しわけなく思っている



照屋 仁士



こんな質問もしました

- 町職員も地域を支える地域マネジャー制度の導入を
- 3世代同居・近居促進事業の検討を
- 産学連携を進めているか
- 幼稚園登下校の安全対策を